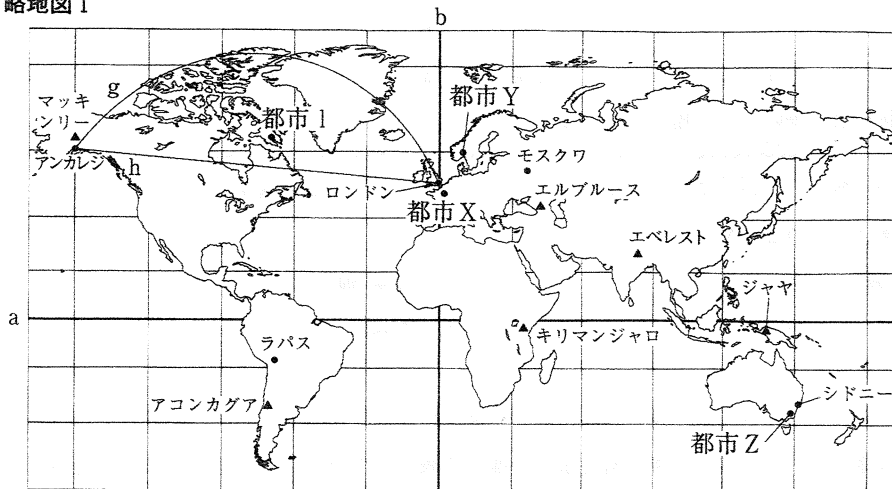
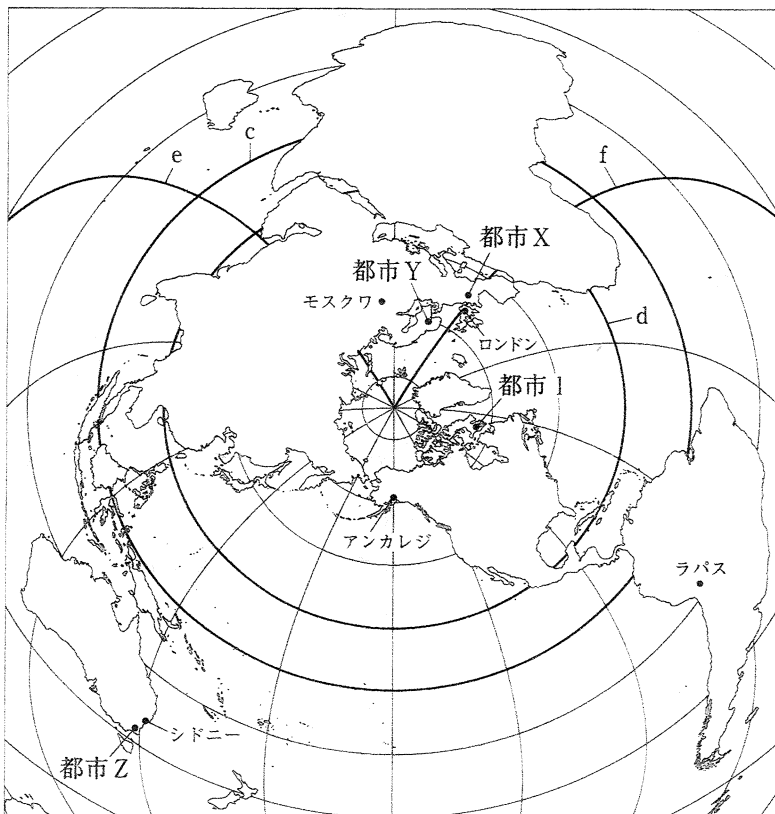


問 1 次の略地図Ⅰは、緯線と経線が直角に交わった地図である。また、略地図Ⅱは、アンカレジを中心とした世界地図の一部分を抜き出したもので、アンカレジからの距離と方位が正しく表されている。これらの地図について、あとの各問いに答えなさい。なお、略地図Ⅰ・略地図Ⅱは、緯線は赤道から20度ごと、経線は本初子午線から30度ごとに引いてある。

略地図Ⅰ



略地図Ⅱ



- (ア) 次の[]中の[あ]、[い]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

略地図Ⅰにaで示した緯線は、略地図Ⅱに[あ]で示した緯線と同じである。また、略地図Ⅰにbで示した経線は、略地図Ⅱに[い]で示した経線と同じである。

1. あ：c い：e 2. あ：d い：f 3. あ：d い：e 4. あ：c い：f

- (イ) 次の[]中の[う]、[え]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

略地図Ⅰ及び略地図Ⅱにあるシドニーは、アンカレジから見てほぼ[う]の方位に位置する。また、アンカレジからロンドンへの最短のコースは、略地図Ⅰでは、[え]で示される。

1. う：南東 え：g 2. う：南東 え：h
3. う：南西 え：g 4. う：南西 え：h

- (ウ) 略地図Ⅰ及び略地図Ⅱにあるロンドンに本社がある企業が、アンカレジ、モスクワ、ラバスの支社の社員とテレビ会議を行った。次の[]中の文は、テレビ会議に参加した支社が作成した会議録の一部である。なお、テレビ会議は、ロンドンの現地時間で午後6時に始まり、1時間で終了した。[]中の支社i、支社jがある都市の名称の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。なお、サマータイムの設定はないものとする。

会議録の一部

支社i：午前9時から始まった会議の冒頭で、わが支社の優秀な営業成績が称賛されたので、社員は朝からよい気分で一日の業務を始めることができた。

支社j：本社からわが支社の営業成績に対して厳しい評価が下され、改善策を立てるよう求められたこともあり、会議が終わった午後10時には会議参加者はつかれはてていた。

支社k：会議は、昼食後間もない午後2時に始まったこともあり、眠気をおさえている参加者が少なかった。

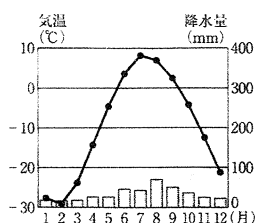
1. 支社i：アンカレジ 支社j：モスクワ 2. 支社i：アンカレジ 支社j：ラバス
3. 支社i：モスクワ 支社j：アンカレジ 4. 支社i：モスクワ 支社j：ラバス
5. 支社i：ラバス 支社j：アンカレジ 6. 支社i：ラバス 支社j：モスクワ

- (エ) 略地図Ⅰにあるマッキンリー、アコンカグア、キリマンジャロ、エルブルース、エベレスト、ジャヤは、各州の最高峰を示している。造山帯に属していないものとして適するものを、次の1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. マッキンリー 2. アコンカグア 3. キリマンジャロ
4. エルブルース 5. エベレスト 6. ジャヤ

(オ) 次のグラフは、略地図Ⅰ及び略地図Ⅱにある都市Ⅰの月ごとの平均気温と降水量を表したものである。都市Ⅰの周辺で見られる伝統的な住居の説明と周辺で飼育される代表的な家畜の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

グラフ

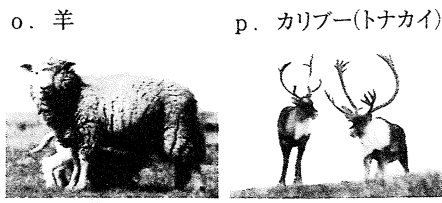


(気象庁ウェブサイト掲載資料をもとに作成)

伝統的な住居

- m. 狩りのときに雪や水
でつくる住居
- n. 移動に便利なテント
式の住居

代表的な家畜



1. mとo 2. mとp 3. nとo 4. nとp

(カ) 次の中のお、かにあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

ヨーロッパには多くの民族が暮らしており、言語や宗教が多様である。略地図Ⅰ及び略地図Ⅱにある都市Xを首都とする国は、ラテン系言語を公用語とし、おが主に信仰されている。都市Yを首都とする国は、ゲルマン系言語を公用語とし、かが主に信仰されている。

1. お：正教会 か：カトリック 2. お：正教会 か：プロテスタント
3. お：カトリック か：正教会 4. お：カトリック か：プロテスタント

(キ) 次の表は、略地図Ⅰ及び略地図Ⅱにある都市Zを首都とする国の輸出相手国と輸出額の割合を表したもので、表Ⅰまたは表Ⅱのいずれかが1977年、もう一方が2015年のものである。これらの表について説明した、あとのき、くにあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

表Ⅰ

中国	32%
日本	16%
韓国	7%
アメリカ合衆国	5%
E U	5%

表Ⅱ

日本	34%
E C	15%
アメリカ合衆国	9%
ニュージーランド	5%
中国	4%

(『日本国勢国会』をもとに作成)

表からは、1977年はきが輸出相手国の第1位になっている。2015年には、E C (E U)への輸出額の割合は3分の1に縮小していることがわかり、くとの経済的関係を深めたことがわかる。

1. き：日本 く：ヨーロッパ諸国
2. き：日本 く：アジア諸国
3. き：中国 く：ヨーロッパ諸国
4. き：中国 く：アジア諸国

問2 Kさんは、夏休みを利用して鹿児島県を訪れ、さまざまなことを調べてメモを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

メモ

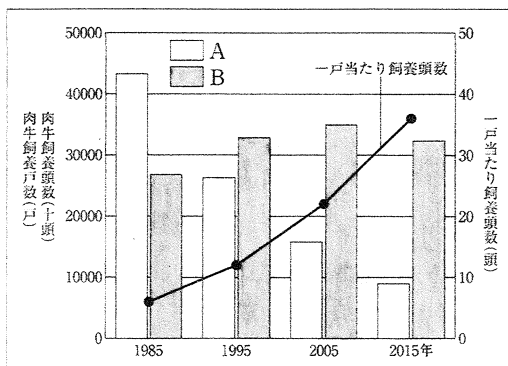
鹿児島県の特徴の一つに、特異な自然環境があります。県域は、世界自然遺産の屋久島を含む薩南諸島と、本土からなります。本土のほぼ中央には「あ」が位置しており、火山灰土や軽石からなる「い」という土壌が広く見られます。農業では、畑作と畜産がさかんで、特に①肉牛や豚、にわたりの飼養数が多いことで知られています。

(ア) 「あ」「い」にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. あ：桜島(御岳) い：カルデラ | 2. あ：桜島(御岳) い：シラス |
| 3. あ：阿蘇山 い：カルデラ | 4. あ：阿蘇山 い：シラス |

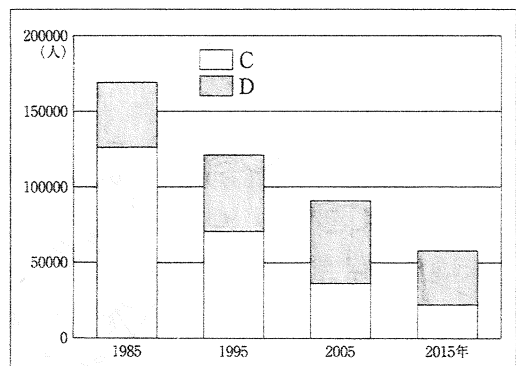
(イ) 線①に関して、Kさんは、鹿児島県における肉牛の飼育を調べるために、鹿児島県の肉牛飼養頭数、肉牛飼養戸数、一戸当たり肉牛飼養頭数の推移を表したグラフⅠと、鹿児島県の販売農家の年齢別の農業就業人口の推移を表したグラフⅡを比較した。グラフ中A～Dの記号と項目の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

グラフⅠ 肉牛飼養頭数・飼養戸数



(農林水産省「農林業センサス累年統計」をもとに作成)

グラフⅡ 年齢別の農業就業人口

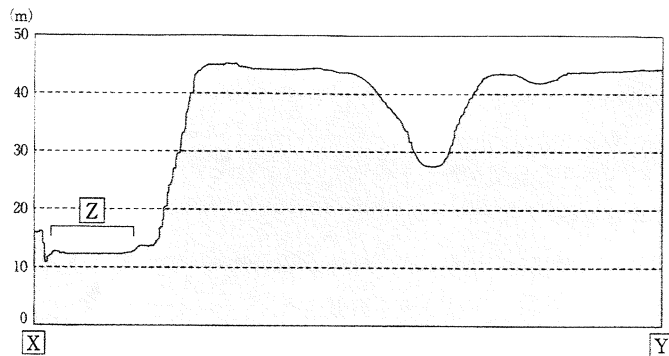


(農林水産省「農林業センサス累年統計」をもとに作成)

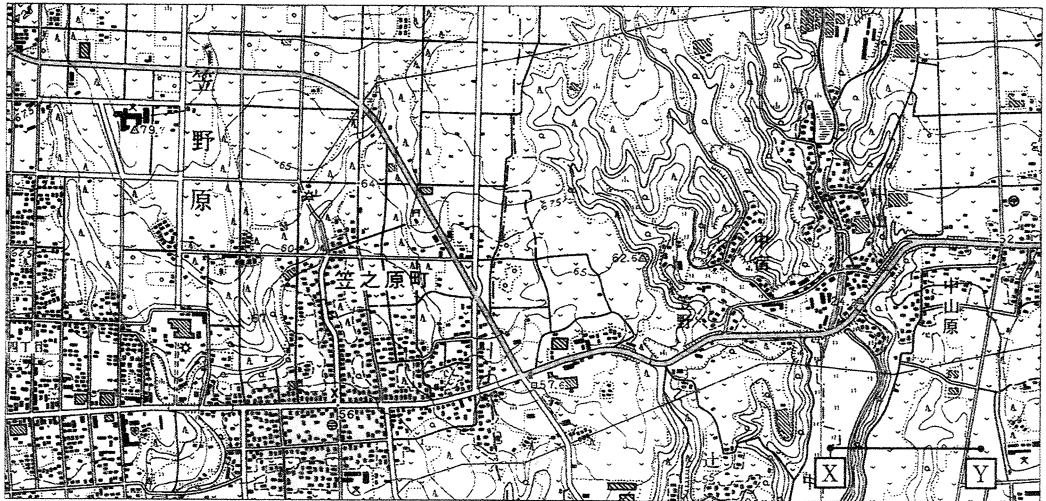
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1. A：飼養頭数 | C：65歳以上 | 2. A：飼養戸数 | C：65歳以上 |
| 3. A：飼養戸数 | D：65歳未満 | 4. B：飼養頭数 | C：65歳未満 |
| 5. B：飼養頭数 | D：65歳未満 | 6. B：飼養戸数 | C：65歳未満 |

- (ウ) Kさんは、あとの地形図Ⅰ、地形図Ⅱをもとに鹿児島県を訪れて調査することにした。これらの地形図に関して、あとの各問いに答えなさい。
- (i) 次の図は、地形図Ⅰにある[X]－[Y]の線の断面を表したものである。図中の[Z]の土地で栽培されている農作物を漢字1字で書きなさい。

図



地形図Ⅰ



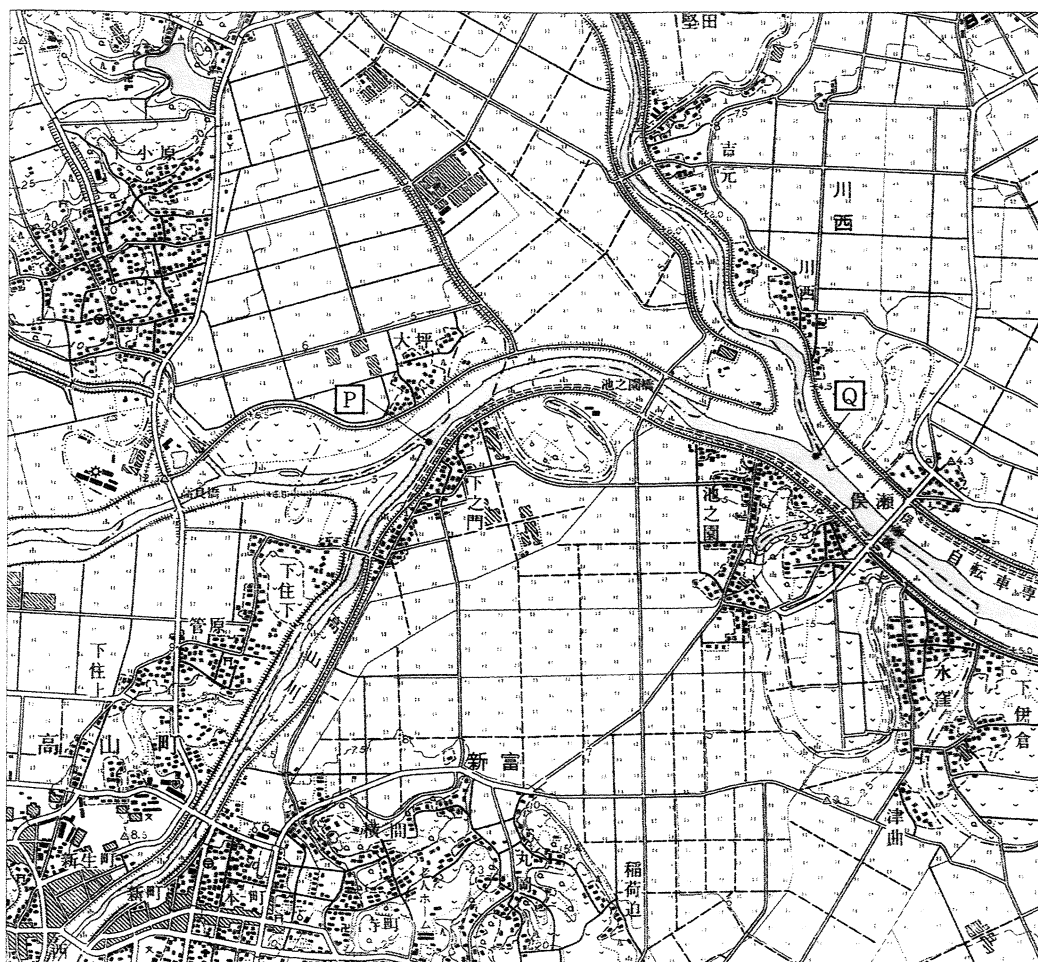
(2万5千分の1の地形図 1993(平成5)年修正測量 国土地理院作成 一部改変)

- (ii) 地形図Ⅰに関して、次の[う]、[え]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

地形図Ⅰの笠野原はかつては荒地が広がり、江戸時代に將軍の[う]がききんに備えて栽培を奨励した。さつまいもづくりが農業の中心だったが、1960年代にダムを建設してかんがいを行うなどの開発が進み、農業経営が多角化した。この地域で開発が行われたことは、地形図Ⅰ中に[え]部分があることから、うかがうことができる。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. う：徳川吉宗 | え：道路が格子状になっている |
| 2. う：徳川吉宗 | え：等高線の間隔が一定になっている |
| 3. う：徳川慶喜 | え：道路が格子状になっている |
| 4. う：徳川慶喜 | え：等高線の間隔が一定になっている |

地形図Ⅱ



(2万5千分の1の地形図 1993(平成5年)修正測量 国土地理院作成 一部改変)

- (iii) 地形図Ⅱに関して、次の $\square$ 中の「お」、「か」にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

地形図Ⅱ中の $\square P$ の地点と $\square Q$ の地点はいずれも「お」である。二つの地点の間は地形図Ⅱ上で長さが約6cmあるので、実際の距離は約「か」mである。

- | | | | |
|------------|-------|------------|---------|
| 1. お：川の分岐点 | か：750 | 2. お：川の分岐点 | か：1,500 |
| 3. お：川の合流点 | か：750 | 4. お：川の合流点 | か：1,500 |